

平成 30 年 12 月 吉日

会員各位

一般社団法人 福島県作業療法士会  
支部 支部長 高橋大輝

平成 30 年度県北支部「生活行為向上マネジメント事例検討会」開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、県北支部「生活行為向上マネジメント事例検討会」を開催することとなりました。今回の事例検討会の発表は、以下の事例となっております。ぜひたくさんの方に聴講いただき、発表や事例登録へと繋げていただければと思います。基礎研修を修了していなくても聴講と検討会への参加は可能ですので、積極的な参加をお待ちしています。

記

1. 日程：平成 31 年 1 月 27 日(日) 9:00～16:00 (受付 8:40～)

\*発表事例数によっては開催時間に変更がある可能性があります。ご了承ください。

2. 場所：あづま脳神経外科病院 大会議室

○駐車場は、研修受講者駐車場をご使用下さい。(別紙参照)

○当日は日曜日ですので、正面玄関は閉め切りになっております。救急外来入口より出入りをお願い致します。(別紙参照)

○大会議室では飲み物以外の飲食ができませんので、昼食は小会議室をご利用ください。

3. 内容：MTDLP 事例検討会

講師：

宗像 暁美 氏 (太田西の内病院 MTDLP 指導者)

真部 敦 氏 (会津リハビリテーション研究所 MTDLP 指導者)

高田 善栄 氏 (総合南東北病院 MTDLP 指導者)

※参加人数によって変更になる可能性があります。ご了承ください。

発表者名 (所属)	演題名
半澤成美 (わたり病院)	「妹に料理を作る」を目標に主体的なりハビリに繋がった事例
小山田兼大 (わたり病院)	重度右片麻痺を呈した 30 代男性の社会復帰に向けて(仮)
北村文一郎 (あづま脳神経外科病院 短時間通所リハビリ)	短時間リハビリでの MTDLP 活用

柿崎俊之（南東北福島病院）	MTDLP の導入により、退院後の生活の不安と目標を明確にし、家事動作再獲得に焦点をあて介入できた症例
二瓶沙千英（南東北福島病院）	MTDLP を用い、目標の再設定をしたことで自信の向上に繋がった症例
齋藤亮太（南東北福島病院）	MTDLP を導入したことにより目標が明確となり役割活動の再獲得に至った症例
菅野里佳（南東北福島病院）	「家に帰ってもできる！」調理動作の役割再獲得に向け MTDLP を導入した症例
村田真由子（南東北福島病院）	「またバスで出掛けたい」社会参加再開を目標に MTDLP を導入した症例
高橋菜々（南東北福島病院）	「美味しい物が食べたい」を目標にすることで社会参加に繋がった症例
服部寿信（清水病院）	未定
勝山美咲（老人保健施設 にじのまち）	自宅での役割の再獲得に向けて園芸に取り組んだ一例
佐々木藤子（柘記念病院）	本人の生活歴に着目し ADL が向上した症例
草野正規（柘記念病院）	役割の再獲得から意欲向上が図られた症例
渡辺里美（福島第一病院）	未定
佐藤愛紗美 （あづま脳神経外科病院）	未定
嶋原莉緒 （あづま脳神経外科病院）	未定
荒文志 （あづま脳神経外科病院）	未定
梅津雄志 （一陽会病院）	MTDLP を用いて漠然とした不安感解消の一助になった症例 ～スポーツを介した MTDLP の導入～
小池駿輔（一陽会病院）	抗不安薬に依存する双極性感情障害の症例～日中の不安軽減を目指して～

4. 参加費：無料

5. 申込締切：平成 31 年 1 月 4 日（金）

6. 申込方法：申込用紙に必要事項をご記入の上、メール又は FAX にてお申込みください。

7. その他：今回の勉強会は、生涯教育基礎コースの 2 ポイントに該当します。

**聴講者は現職者共通研修「9. 事例検討」の対象となります。**

以上

【お問い合わせ先】

社会医療法人 一陽会 一陽会病院 リハビリテーション部 梅津雄志

TEL：024-534-6715

FAX：024-531-0427

Mail：ot@ichiyo.jp